

「伝統文化・人形浄瑠璃を通じた福島県への心の復興事業」報告

【人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』②】(11月実施分報告)

- 1) 日程 平成28年11月4日(金)～6日(日)
- 2) 場所 長期的な体験交流として、川俣町では高校生以上を対象に、福島市では小学生以上を対象とした人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』を実施。
- 3) 参加劇団 八王子車人形西川古柳座(1名)、さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座(6名)
- 4) 主催 やまびこ座・こぐま座東日本大震災復興支援プロジェクト  
公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
- 5) 共催 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館、hand to hand project kawamata
- 6) 実施記録

①長期体験/人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』

月/日(曜)	時間	会場	内容	参加者数
11/4(金)	19:00	川俣町中央公民館	『ふれアート』inかわまた 3回目	8名 (大人8)
11/5(土)	19:00	伊達郡川俣町字樋ノ口11番地	『ふれアート』inかわまた 4回目	7名 (大人7)
11/5(土)	10:00	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ	『ふれアート』inふくしま 2回目	9名 (子9)
11/6(日)	10:00	福島市早稲町1番1号	『ふれアート』inふくしま 3回目	9名 (子9)

7) 写真で見る公演及び調査記録

人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』inかわまた

①11/4(金) <3回目>



- 前回の開催より期間が空いたため思いだしながら基本の操作方法の稽古を行った。昨年参加してくれた方がまた1名今開催から参加してくれるなど、発表会に向けてのメンバーも確定し気持ちが高まってきた。
- 昨年度は受講生の方にも発表会を観に来て下さる町民のみならずにも親しみを持ってもらえるようにと、地元の「川俣音頭」を三人遣いで発表したが、今年度はワークショップ開催2年目であることから、古典の有名な演目に挑戦することになった。

②11/5 (土) <4回目>



- 発表会では「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」をふれアートバージョンに短くしたものに取り組むことになった。実際に自分の身体で振付の確認をし台本に書き込むなどした。
- 初めての挑戦で受講生のみなさんも戸惑いがあるかと思っただが、とても前向きに明るく取り組んでくれている。今後の展開が楽しみである。

人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』inふくしま

①11/5 (土) <2回目>



- 子どもたちのワークショップでは、早いタイミングで発表会で取り組む演目が決まったことから、今回から早速演目の稽古に入ることができた。
- 川俣町と同様に、子どもたちも昨年度よりもさらにレベルアップした新しい演目に挑戦することになったが、構えることなく素直に取り組んでいた。昨年度から継続の子どもたちは経験者としての自信がついておりとても頼もしくみえる。新しいことに挑戦できる喜び、やりがいを感じてもらえているのではないかなと思う。

②11/6 (日) <3回目>



- 2日目も引き続き発表会に向けての稽古。鳴物や口上なども自分たちで行うためル回転で頑張っていた。先入観なく楽しく取り組んでいる様子が見える。
- 福島市内の複数の学校から参加してくれているが、他校の生徒との交流ができる場にもなっていることは喜ばしいことである。この体験活動が仲間づくりや、子どもたちが新たな可能性を発見できる場となることを期待している。